

静岡市わかもの会議 NEWS その0

～「静岡市わかもの会議」告知イベントを開催しました～

人口減少が喫緊の課題である静岡市。

「若者が住んでみたい、住み続けたいと思うまち」になるためには何が必要か、当事者である若者が意見やアイデアを出しあい、ともに静岡の未来をつくるため、『静岡市わかもの会議』が発足しました！

「静岡にあんなものがあっていいのに」「このまちですっと過ごしたい」「もっと好きなまちにしたい！」そんな思いを行動に、カタチにするきっかけをつくります。

告知イベント 開催

7月6日(水)午後7時～午後8時30分 @ 静岡市青葉会議棟

より多くの市民の皆さんに「静岡市わかもの会議」の発足を知っていただくため、パネルディスカッションを開催！

市内で活動する若者団体の方々をパネラーとして、18歳選挙権の受け止め方や静岡市に住み続けたいか、「静岡市わかもの会議」に期待すること等について、それぞれの経験をふまえた議論が交わされました。



静岡市 わかもの会議 に向けて

パネルディスカッション「若者のチカラでつくる、静岡のミライ」

「市内に若者が勉強するスペースや、団体が気軽にミーティングできる場所が少ない」「若者同士の繋がりが弱い」・・・といった、若者目線による意見のほか、「静岡に誇りをもって活躍している先輩や大人の存在が、若者の地域への愛着に繋がる」「大人の真似をするのではなく、若者の強みを活かしたい」「一部の若者の意見にならないようすべき」…等、「静岡市わかもの会議」のあり方についても重要な示唆がありました。

静岡市青少年育成課 松永課長より

「興味をもったことに対して、実際どうなのか、何がどれだけ足りないのかというところまで深掘りして、提案をアイデアにとどまらせないで」



来場者 アンケート (抜粋)

Q. 本日のイベントで特に印象に残った部分は？

- ・自治体と若者がどのように関わっていくかを一部の人だけでなく色々な人で関わることは大切だと思いました。
- ・色々な団体があるけど、大学を超えたつながりが弱いと感じた。
- ・「大人のマネをするのではなく、学生にしかできないことをしよう」「自分たちの素直な気持ちを起点に考えていきたい」という点が印象に残った。

Q. あなたにとって、「若者が、住んでみたい・住み続けたいと思うまち」はどんなまちだと思いますか？

- ・若者と大人の壁がなく、お互いが信頼し合っているような社会
- ・若者を「若者」としてカテゴリーしないようになること
- ・自分たちの街だと思えること。自分がこうしてみたいと思ったことが形になるまち